

## 「平成28年度 全国学力・学習状況調査結果(市町村の状況)」の概要

## 学力の状況(岡山県公立学校の状況)

## 1 学力調査の結果(公立学校)

## (1) 平均正答率

市町村名等	小学校				中学校			
	国語A	国語B	算数A	算数B	国語A	国語B	数学A	数学B
全国平均	72.9	57.8	77.6	47.2	75.6	66.5	62.2	44.1
(大都市)	73.0	58.8	77.8	48.3	75.8	67.0	62.8	45.0
(中核市)	73.8	58.5	78.2	47.8	75.8	66.6	62.8	44.4
(その他の市)	72.7	57.4	77.4	46.7	75.4	66.2	61.6	43.4
(町村)	72.2	56.4	77.1	45.7	74.9	65.3	60.2	42.3
県平均	72.6	57.5	77.2	47.3	74.7	63.8	60.3	41.4
岡山市	71.8	58.0	77.0	47.7	73.4	61.6	59.6	40.4
倉敷市	73.0	57.6	75.9	46.7	73.7	62.7	59.0	39.2
津山市	72.3	53.9	77.0	45.8	74.1	62.0	56.4	38.6
玉野市	72.0	56.0	76.6	46.8	77.2	65.7	64.3	44.3
笠岡市	74.8	59.9	79.3	48.6	74.9	63.8	61.0	41.3
井原市	72.4	56.5	79.4	47.6	76.9	66.0	59.6	41.7
総社市	74.8	58.2	79.5	47.8	75.9	66.7	61.2	42.8
高梁市	71.9	56.1	76.9	46.4	76.9	69.4	63.4	44.5
新見市	73.1	57.7	80.4	47.6	76.2	65.5	59.5	41.4
備前市	76.7	58.7	80.8	49.9	74.2	62.9	58.9	40.4
瀬戸内	71.7	56.7	75.8	45.5	76.8	69.2	61.3	43.4
赤磐市	70.5	56.6	77.4	45.6	75.6	64.3	62.7	43.9
真庭市	73.7	55.9	80.4	47.1	75.1	62.6	56.6	38.7
美作市	73.1	57.8	80.5	48.0	76.0	65.7	59.9	42.1
浅口市	72.2	58.2	78.7	49.4	73.0	60.3	59.8	40.4
和気町	73.9	60.2	80.3	51.8	73.1	61.3	57.4	37.9
早島町	—	—	—	—	—	—	—	—
里庄町	74.8	59.2	80.6	49.4	—	—	—	—
矢掛町	75.7	59.4	81.0	49.1	—	—	—	—
新庄村	—	—	—	—	—	—	—	—
鏡野町	71.7	58.3	80.2	43.4	—	—	—	—
勝央町	74.2	55.1	78.8	45.9	—	—	—	—
奈義町	—	—	—	—	—	—	—	—
西粟倉村	—	—	—	—	—	—	—	—
久米南町	73.5	50.5	75.7	41.1	—	—	—	—
美咲町	70.2	56.4	76.4	46.2	76.8	70.2	61.7	42.3
吉備中央町	71.1	59.1	76.5	47.0	—	—	—	—
笠岡市・矢掛町中学校組合	—	—	—	—	—	—	—	—
県立学校	—	—	—	—	92.0	92.0	89.9	78.2

※ 「—」の町村は、該当の学校が1校のため、公表の対象としない。

※ 県立特別支援学校(小学部)は受検者が各校2名程度なので、公表の対象としない。

※ 県立学校には、県立特別支援学校(中学部)、県立中学校・中等教育学校が含まれる。

＜参考＞ 全国平均より正答率が上回った市町村の数  
 (27市町村 ※中学校は組合立を含む28市町村)

	小学校					中学校				
	国語A	国語B	算数A	算数B	国算計	国語A	国語B	数学A	数学B	国数計
H28 市町村数	14/27	13/27	15/27	13/27	14/27	13/28	9/28	8/28	7/28	8/28
H27 市町村数	12/27	11/27	18/27	9/27	12/27	9/28	6/28	8/28	4/28	7/28
H26 市町村数	7/27	8/27	15/27	7/27	8/27	16/28	4/28	8/28	7/28	7/28

【概要】全国平均より正答率が上回った市町村の数

本年度と過去2年間を比較した場合、全国平均より正答率が上回った市町村の数が増加している。

特に平成27年度との比較では、小中学校全8科目中6科目で増加しており、市町村数が減少した算数Aにおいても、15市町村が全国平均を上回り、他の科目より多い。

全国平均との差で考察した場合、改善傾向にある市町村が多く、それぞれの地域の実態に応じた取組が成果に繋がっていると考えられる。

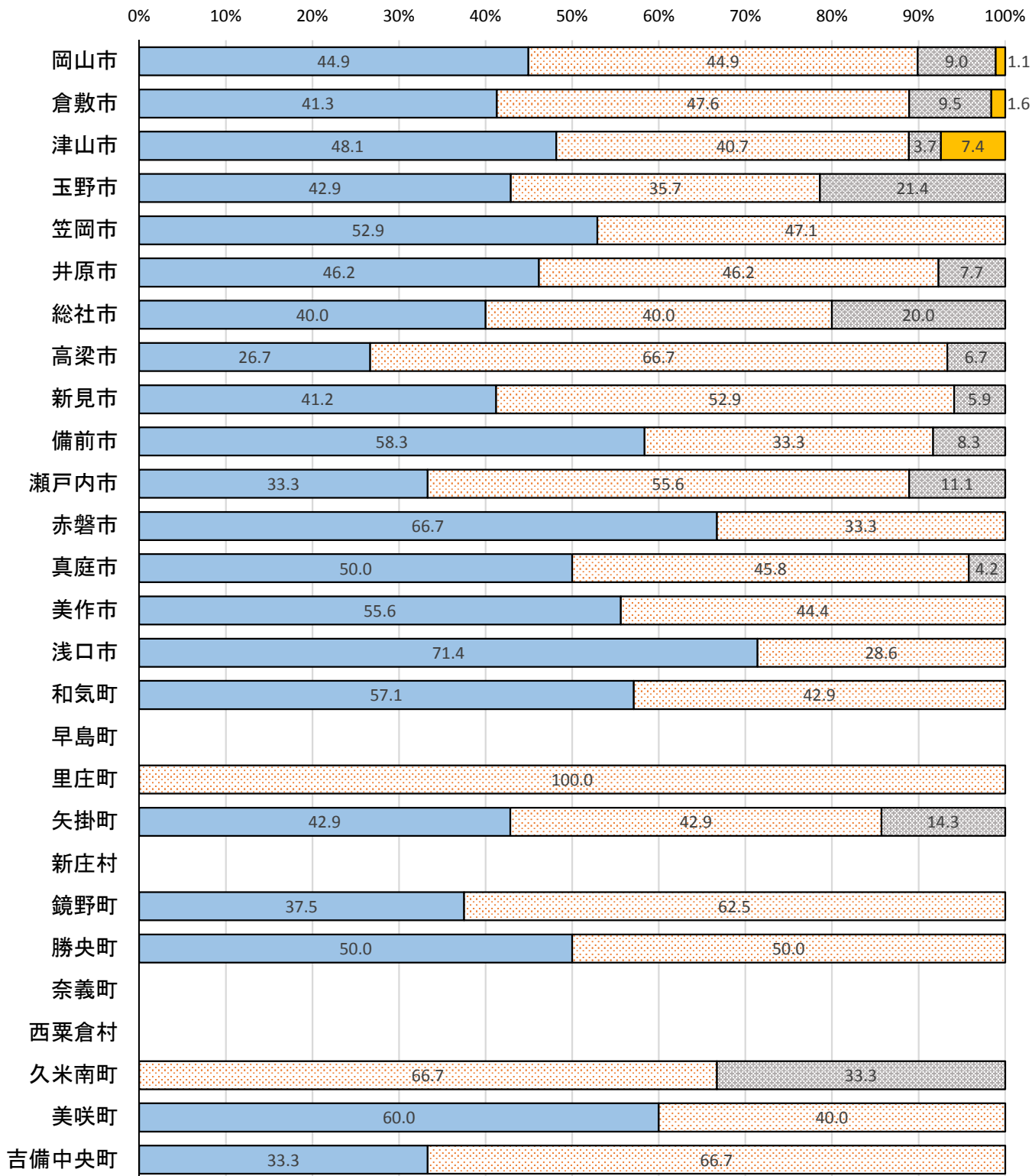
# 学習の状況（岡山県公立学校の状況）

## 2 学習調査の結果（公立学校）

### (1) 落ち着いた学習環境づくり

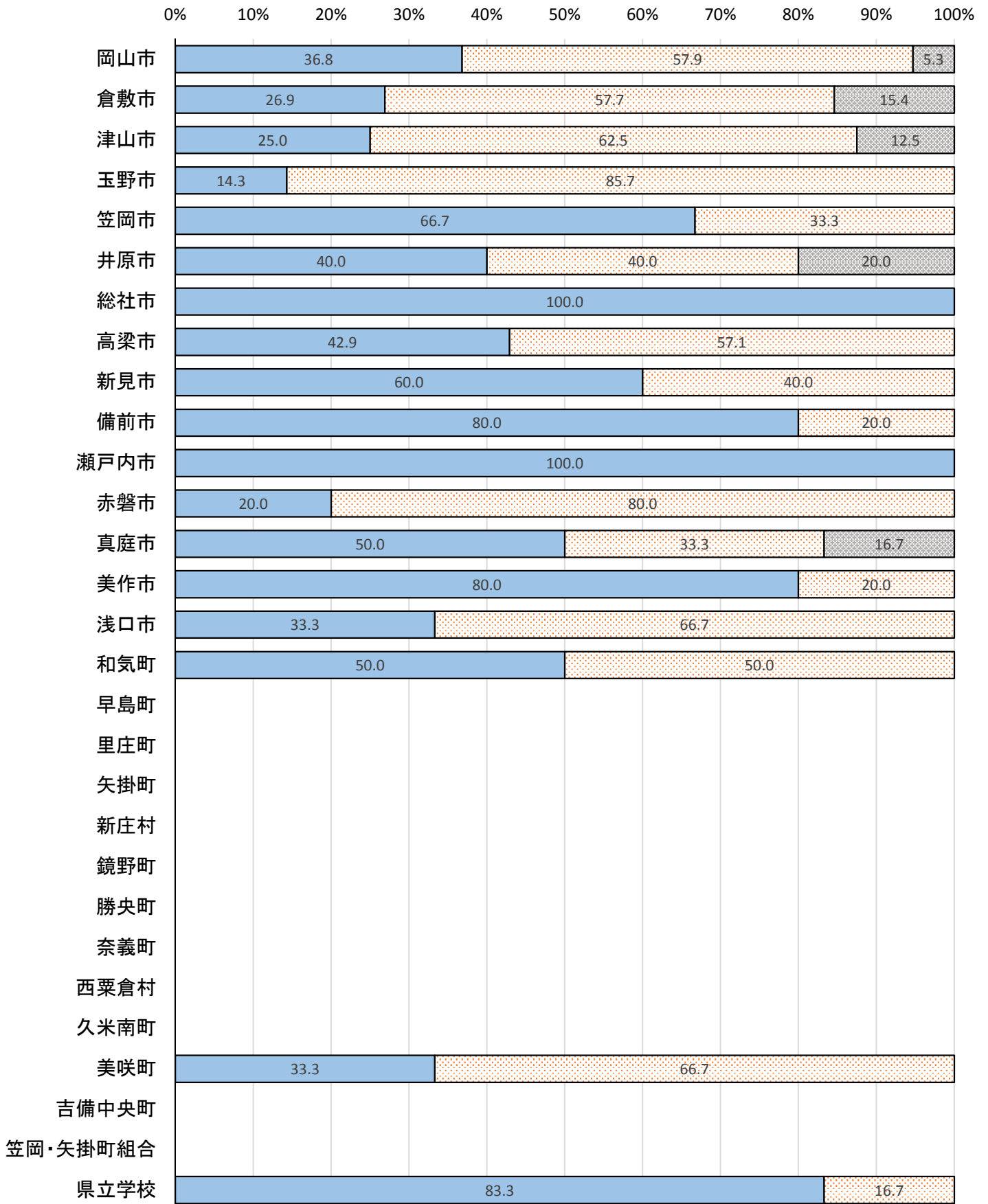
【学校質問紙】 調査対象学年の児童（生徒）は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか。

#### ① 小学校の状況



□ 当てはまる □ どちらかといえば、当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまらない ■ 当てはまらない

② 中学校の状況

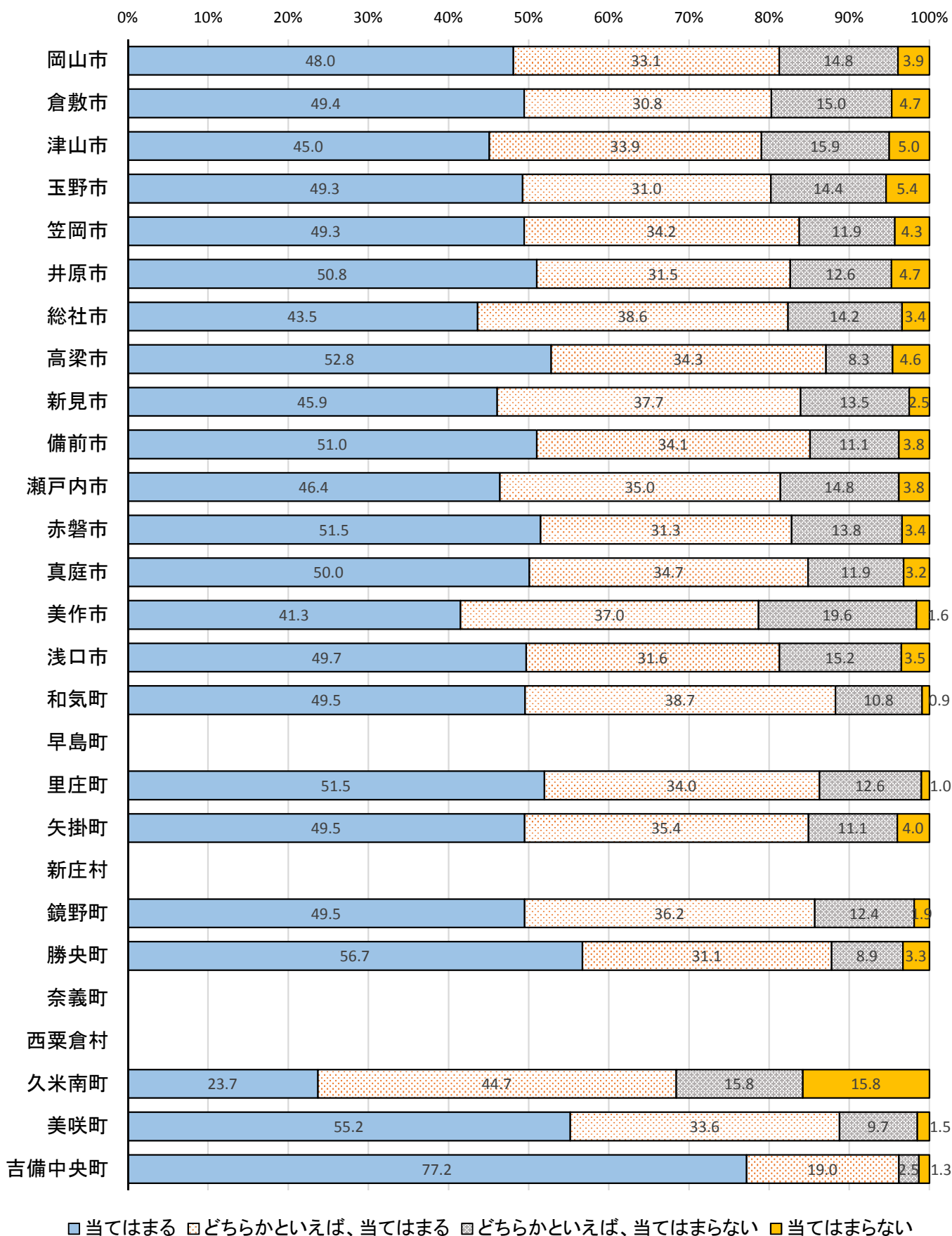


■ 当てはまる 
  どちらかといえば、当てはまる 
  どちらかといえば、当てはまらない 
  当てはまらない

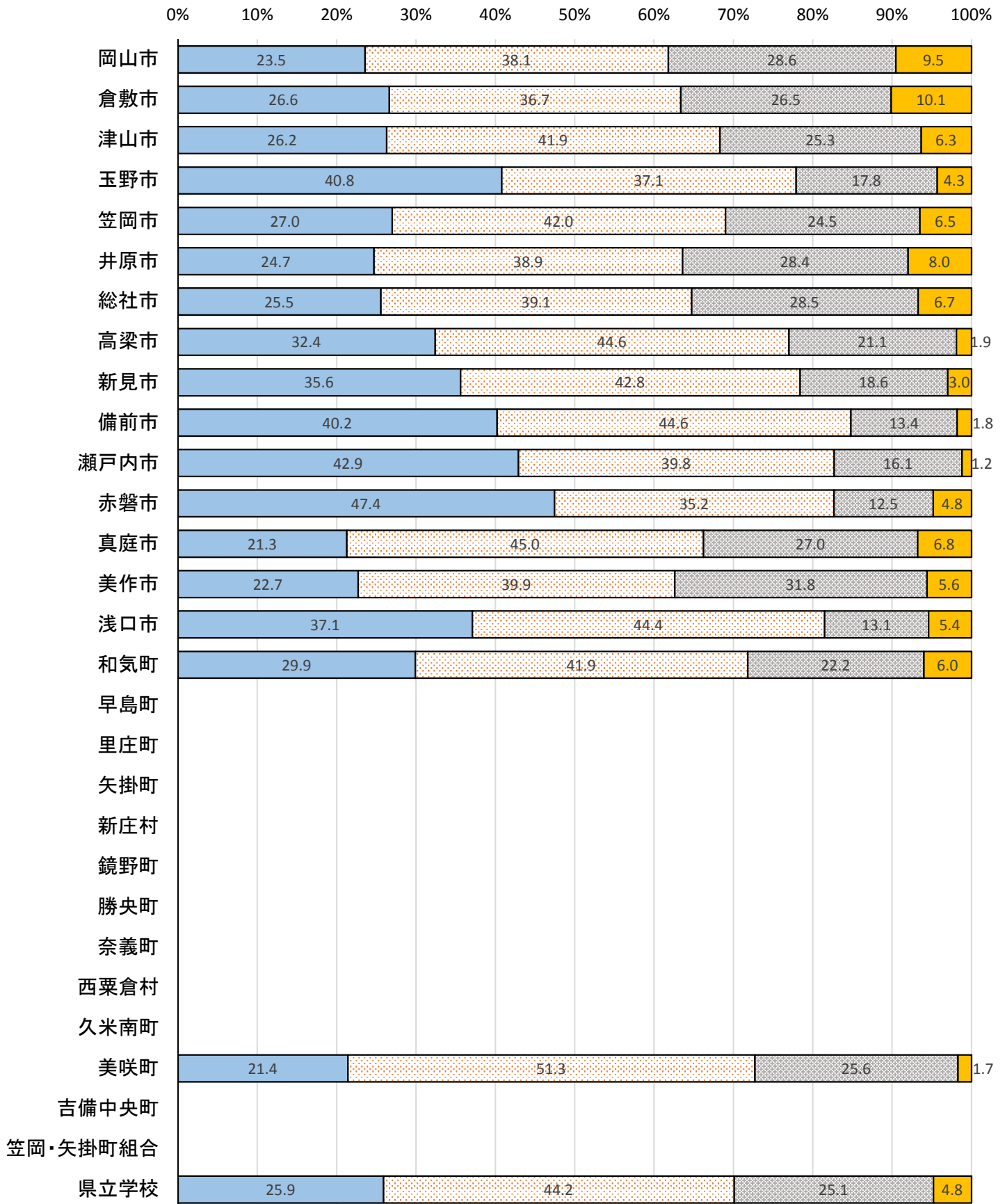
## (2) 授業改善

【児童生徒質問紙】 授業の最後に、学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思いますか。

### ① 小学校の状況



② 中学校の状況



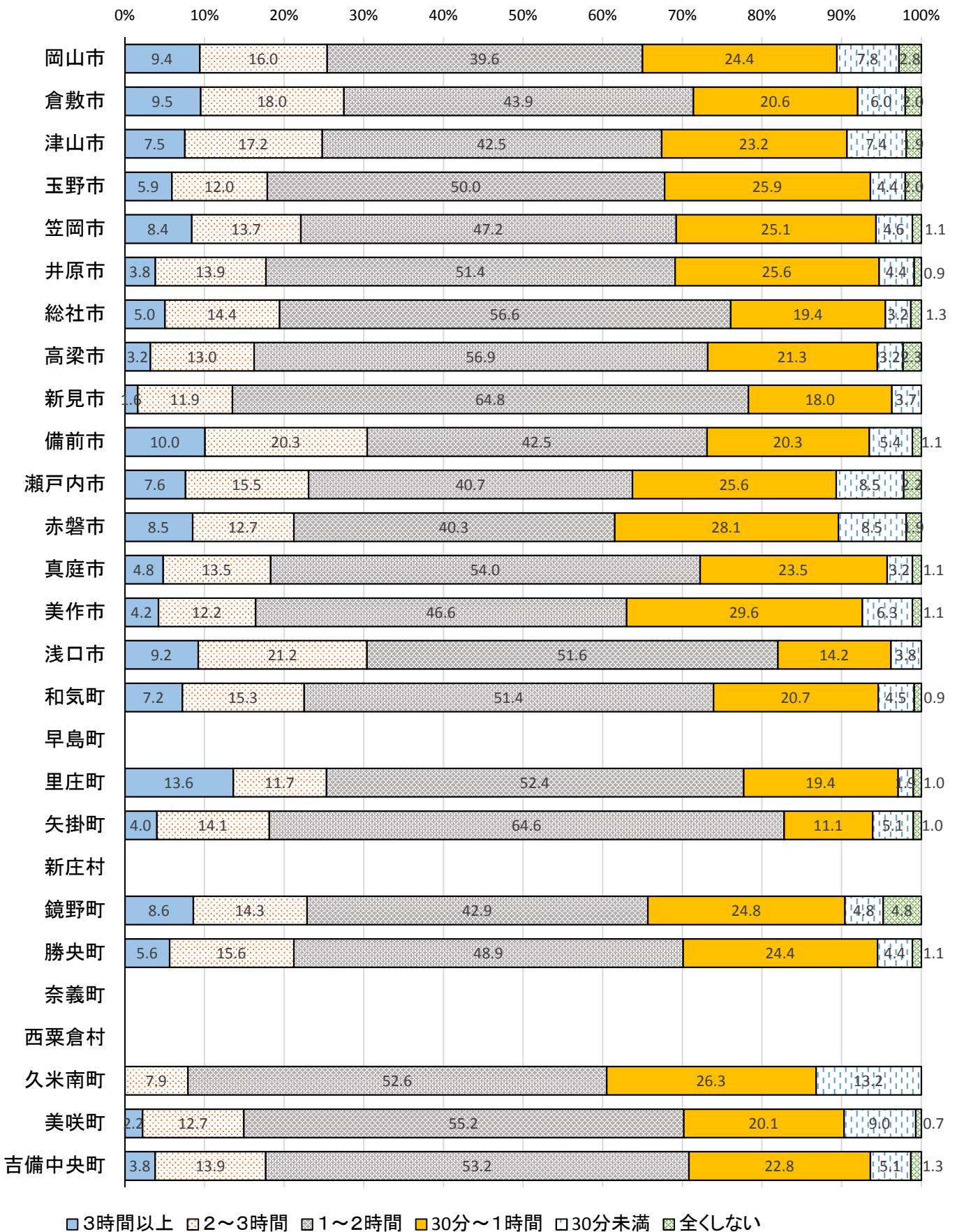
□ 当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまる ▨ どちらかといえば、当てはまらない □ 当てはまらない



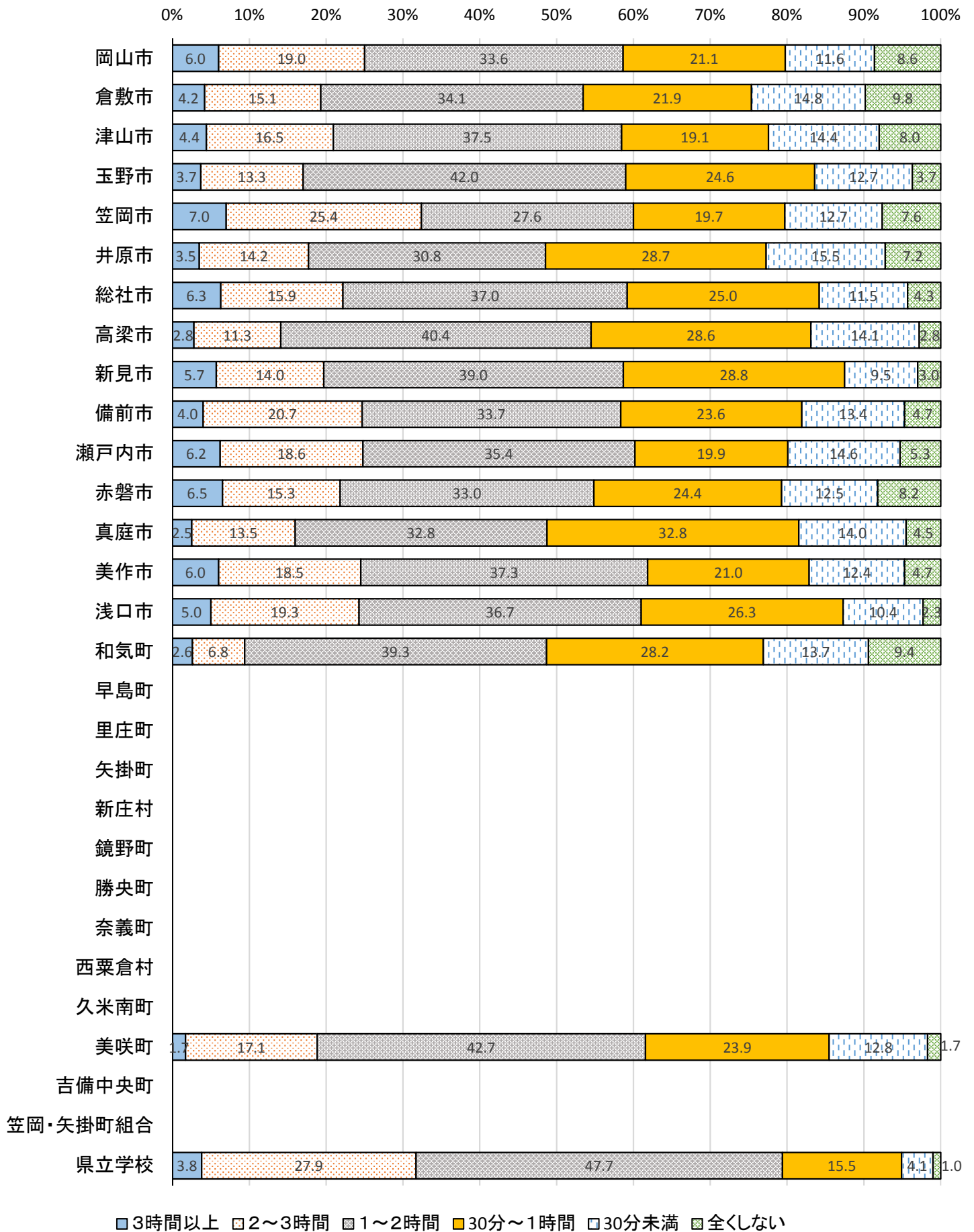
### (3) 学習習慣の確立

【児童生徒質問紙】 学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間を含む）

#### ① 小学校の状況



② 中学校の状況

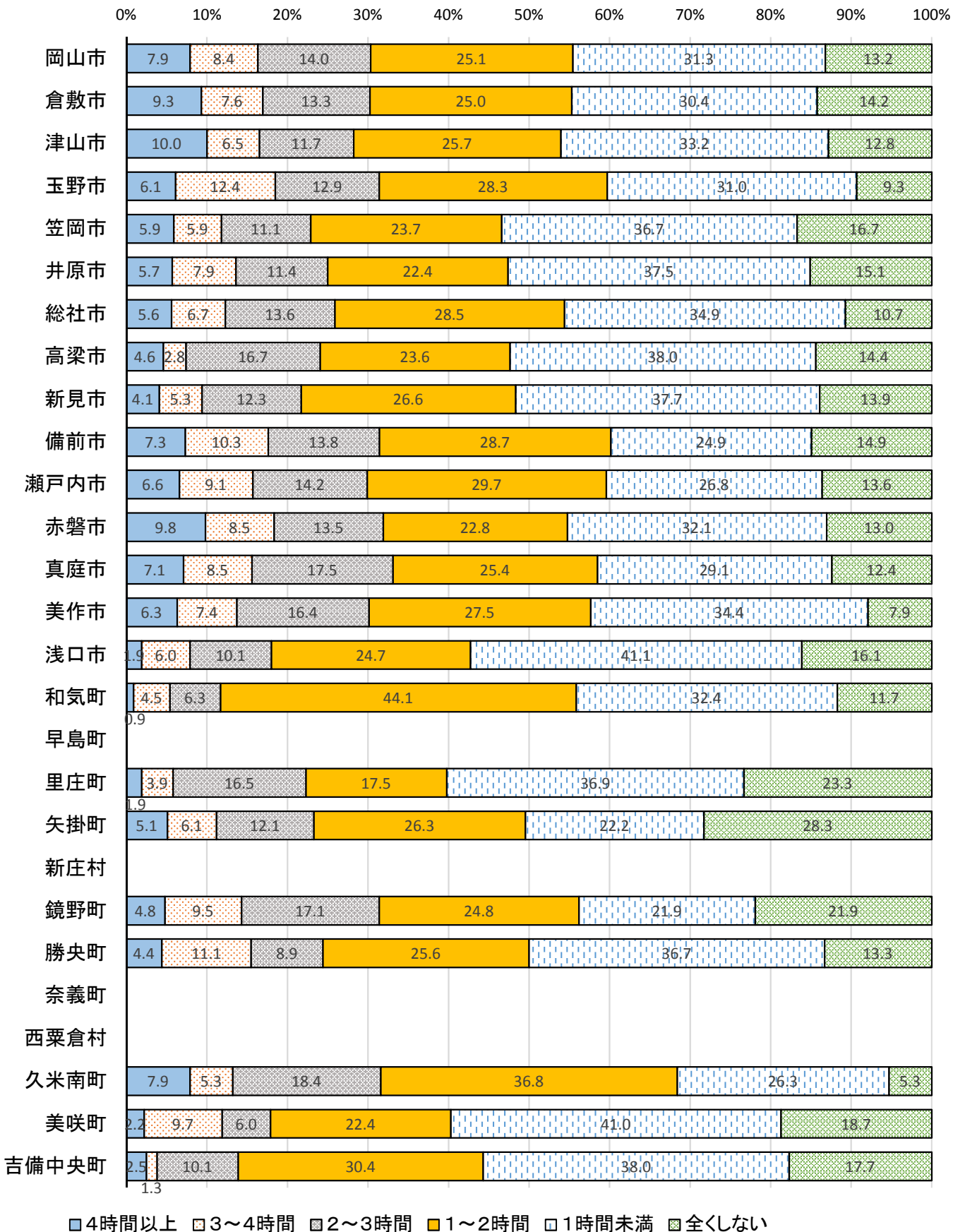




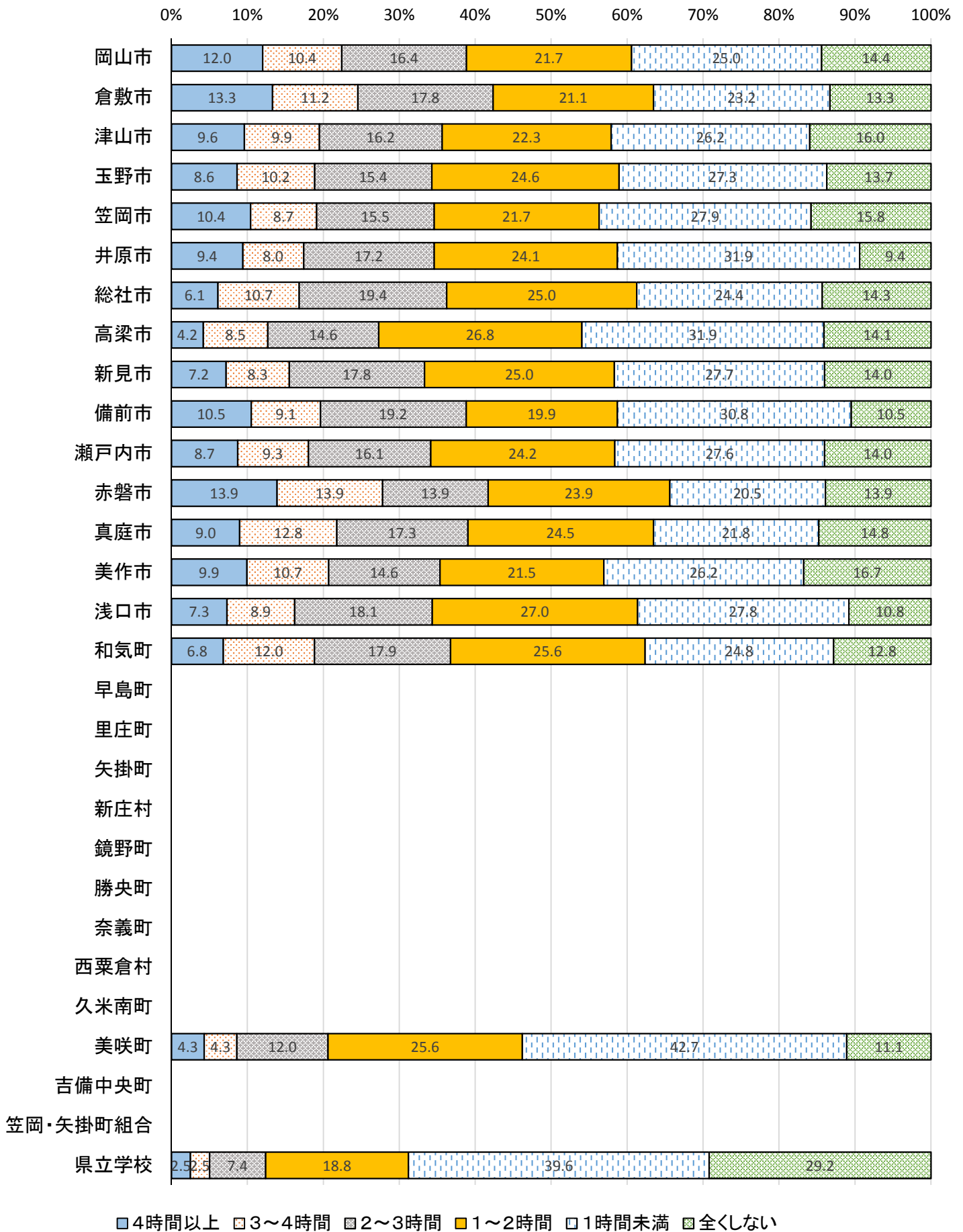
#### (4) 望ましい生活習慣の確立

【児童生徒質問紙】 普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピューターゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む）をしますか。

##### ① 小学校の状況



② 中学校の状況



■ 4時間以上 ■ 3~4時間 ■ 2~3時間 ■ 1~2時間 □ 1時間未満 ■ 全くしない

### 3 学力向上4項目の観点から見た学習状況

#### 【落ち着いた学習環境づくり】

##### 【学校質問紙】

「調査対象学年の児童（生徒）は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか。」

- 肯定的な回答をした学校の割合について、小・中学校ともに、市町村間での差が大きい。
- 中学校では、否定的な回答をした学校の割合が、非常に高い市町村もあるため、課題がある学校については、早急に学習基盤の整備をする必要がある。

#### 【授業改善】

##### 【児童生徒質問紙】

「授業の最後に、学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思いますか。」

- 小学校では、ほとんどの市町村で、肯定的な回答の割合が8割を超えており、授業改善が進んでいる様子が見える。
- 中学校では、依然として肯定的な回答の割合が低く、市町村間にも差が見られるため、学校全体で組織的な授業改善を徹底する必要がある。

#### 【学習習慣の定着】

##### 【児童生徒質問紙】

「学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間を含む）」

- 小学校では、「平日1時間以上学習する」と回答した児童の割合が、市町村間で差があるものの、6割から8割の高い割合で家庭学習に取り組んでいる。
- 中学校では、全ての市町村において、小学校に比べて学習時間が大きく減少しており、「全く勉強をしない」または、「30分未満」と回答した生徒の割合が大きく増加することが課題であり、中学校段階において、適切な家庭学習時間の確保に対する取組が必要である。

#### 【生活習慣の改善】

##### 【児童生徒質問紙】

「普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピューターゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む）をしますか。」

- 1日3時間以上使用するヘビーユーザーの割合は、小学校では少ないが市町村間の差が大きく、各地域の実態に合わせた指導が求められる。また、中学校では、全体的に増加し、市町村間の差が小さくなる傾向から、全ての中学校において、適切なメディア使用に関する指導が求められる。
- 中学校での指導はもとより、スマホ・ゲームの使用時間が増加する前の、小学校の段階から、きちんと指導をしておく必要がある。